

1. 11月13日(火)～3月30日(土) 海洋研究開発機構「科博 NEWS 展示 南海トラフ地震発生帯掘削*に『ちきゅう』が挑む」；9：00～20：00 国立科学博物館 地球館1階オープンスペース（JR上野駅より徒歩5分）入館料620円
https://www.jamstec.go.jp/j/pr/event/nantroseize_kahaku/
2. 12月 2日(日) 横浜市民防災センター「ENJOY BOUSAI 2018～防災をバリアフリーに～」（「和太鼓アラジン」、「上菅田トリオ」、「シャーロムの家」ほかによるバラエティ豊かなステージパフォーマンス、要援護者体験、バーチャルリアリティで新感覚の防災体験など）；10：00～14：00 横浜市民防災センター、沢渡中央公園（横浜駅より徒歩10分）<http://bo-sai.city.yokohama.lg.jp/info/enjoybosai>
3. 12月 5日(水) 横浜市港北区「港北区人権啓発・防災講演会～避難所で本当に命と健康守れますか!?高齢者・障害のある方・女性・子供などの視点から」講師 浅野幸子氏（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表）；14：15～15：45 港北公会堂（東急東横線大倉山駅から徒歩7分）入場無料 定員600名 申込不要 www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/soumu/bousai/chirashi.pdf
4. 12月 8日(土) 神奈川大学「2018年度後期連続講演会 福島第一原発事故と日本の歩むべき道 21世紀のエネルギー政策とわが国の課題（全4回）」にて
<http://www.ku-portsquare.jp/site/course/detail/2464/>
「第4回 原発ゼロと日本の歩むべき道（12月8日）」 講師 小泉純一郎（元内閣総理大臣）；14：00～16：00 神奈川大学横浜キャンパ16号館セレストホール 無料 定員300名 要申込（キャンセル待ちの場合あり）
5. 1月19日(土) 平成30年度 防セン アカデミー「要援護者支援 イザという時に助け合う『思いやり防災アクション』～みんなの“ちがい”をゲームで学ぶ～ 講師：宮崎賢哉氏（防災教育普及協会事務局長／防災教育コーディネーター・社会福祉士）；9：30～12：00 横浜市民防災センター（横浜駅より徒歩10分）無料 定員40名 要申込
bo-sai.city.yokohama.lg.jp/theme/ydrlc/img/academy/d.pdf

（参考）「南海トラフ地震発生帯掘削計画」について

「南海トラフ地震発生帯掘削計画」では、地球深部探査船「ちきゅう」が、熊野灘とその沖合15地点で68孔の掘削を実施。また、その中の3地点に長期孔内観測システムを設置し、詳細な地殻変動をモニタリングしている。今年10月からはじまった研究航海では、これまで集中的に行ってきた科学掘削の集大成として、大深度ライザー掘削により、巨大地震の発生現場に直接迫る。（海洋研究開発機構HP参照）

http://www.jamstec.go.jp/j/about/press_release/20180927/#c1

横浜市で「ブロック塀等改善事業」が始まりました。

大阪北部地震での痛ましい被害を受けて、横浜市では、「ブロック塀等改善事業」が始まりました。地震の際に倒壊が心配されるコンクリートブロック塀等の除去工事やそれに代わる軽量のフェンス・生垣の新設工事に対して、その費用の一部が助成されます。（条件あり。詳細は下記照。）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/kenbou/bousai/block/>